カンキツの貯蔵病害について

カンキツ類の貯蔵病害の種類と発病要因は下記のとおりである。

病名	感染・菌の潜伏	助長要因
緑かび・ 青かび病	ほ場で果実表面に付着 貯蔵箱の汚れに残存	収穫・運搬時、貯蔵時の傷
軸腐病	黒点病と同一菌　果盤に潜伏	黒点病の多発生　果実の生理的悪化
黒腐病	落花後の果頂部や果面の傷から侵入	開花前後の長雨 果皮の傷
黒斑病	ほ場で果実に侵入潜伏	貯蔵庫内の乾燥、霜害
白かび病	風雨によって果実に付着	強風雨、降雨時の収穫
炭疽病	ほ場で感染	果実の生理的悪化

発生を軽減させるために、果実を傷つけないように注意して適正な貯蔵環境を保ち、また、定期的に貯蔵庫の点検を行って発病果を取り除くことに心がける。